

聖なる丘だより

- 第16号 (2007年 夏号) -

医療法人 セントヒル病院
聖比留会

宇部市大字西岐波字横山1462-3

TEL (0836)51-5111

FAX (0836)51-9999

<http://www.sthill-hp.or.jp/st/>

平成19年3月3日

セムイがん検診・放射線治療サイト オープン

セントヒル病院セムイがん検診・放射線治療サイトは、がん拠点病院の山口大学医学部附属病院の提携病院として、がんの克服の一翼を担う施設として、平成19年3月から開設されました。



セムイ（施無畏）の名は、スタッフ一同が、がんに対する不安を取り除き安心を得ていただける診療を目標にしていることを表したものです。

山口大学附属病院および地域医療機関の皆様との連携により、当サイトの特色が生かされ、がんの早期発見によりがん克服に貢献できればと願っております。

セムイがん検診・放射線治療サイトからの報告



PHILIPS社製 GEMINI GXL16



PHILIPS社製、Brilliance CT64



PHILIPS社製、Achieva 3.0T



GE社製、Senograph 2000D

セムイがん検診・放射線治療サイトは、PET-CTとピンポイント放射線照射（定位放射線照射、強度変調放射線照射）の可能な高精度放射線治療装置を主軸とする施設で、がんの診断から治療までをコンセプトとして、平成19年3月5日から稼動しました。

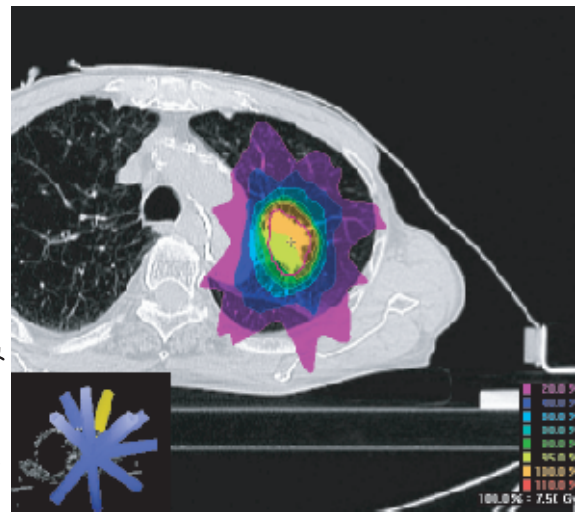
施設名を『画像診断センター』とせず、あえて『がん検診』としたのは、癌を克服するためには、がんを早期に発見することがなによりも大事で、検診の重要性をあえて社会的に強調したかったからです。現在までに300名を超えるがん検診を行ない、自覚症状のない6名のがんを見つけ出すことができています。がん以外にも生命に関わる可能性のあった疾患（脳動脈瘤、脳動脈閉塞、腹部大動脈瘤、膿瘍、気管支肺炎など）を見つけ、経過観察や早期治療を行なっています。また、生命を直接脅かすものではありませんが、良性の肝腫瘍、甲状腺腫瘍、乳腺腫瘍、膵臓腫瘍なども見つけ、確定診断を行ない受診者に安心していただいています。診断の確信には、3T MRI、64列CT、超音波、マンモグラフィなどの高精度像診断装置が非常に役立っており、PET-CT検査のみならず総合的な画像診断が行なえる体制に支えられています。当施設は、山口大学附属病院の患者様のPET-CT検査を行なう施設として山口大学附属病院の提携病院に指定されており、『がん検診』のみならず、保険診療としてのがん診断施設としても重要な役割を担っています。山口県下の各地域病院からも多くのPET-CT検査のご依頼をいただいております、依頼件数も次第に増加しています。

PET-CT装置



3D-PETに適したGSO検出器により、高いエネルギー分解能による散乱線除去が可能になり、高品位の画像が得られる。3Dデータ収集や3D-LORによる画像再構成により、アーチファクトは軽減し、微小病変の描出能も向上。放射線治療装置と共通の形状を有するフラットテーブルの装着も可能。

今後の重要な課題の一つとしては、当施設にあるピンポイント放射線照射（定位放射線照射、強度変調放射線照射）の可能な高精度放射線治療装置（ノバリス）の利点を一人でも多くの地域医療関係者に知っていただき、多くの患者様に利用していただくことがあります。ピンポイント放射線照射により、早期がんでは“根治治療”が可能な場合があることや、手術に匹敵する優れた治療効果があることを知らずに、やむを得ず他の侵襲的な治療を選択されている患者さまも多いものと推測されます。これは、放射線治療の利点が、日本ではまだ十分ながん治療に生かされていない背景にもよると考えられます。米国では癌患者の66%、ドイツで60%、イギリスで56%が何らかの形で放射線治療を受けているのに対し、国内では25%（4人に1人）のみしか放射線治療を受けていない現状からも読み取れます。当施設では、放射線治療専門医と放射線治療専門技師、医学物理士が専任で放射線治療に当たっており、高精度放射線治療の精度・品質管理、品質保証を行なっています。現在、少しずつですが、当施設にある高精度放射線治療装置（ノバリス）による治療を紹介されたり希望され治療を受けておられる患者さまは増加しています。



もう一つの重要な課題は、PET-CTを『がん検診』のみならず、現在、社会的に関心の高まっているアルツハイマー病などによる『認知症』診断に使用して行く体制を充実させることがあります。100人のうち3人はアルツハイマー病になるといわれており、PET-CTによる脳代謝検査と3T MRIによる脳形態診断による早期発見は重要と考えられます。そこで、今回、当施設の検診コースとして『認知症検診』コースを新たに取り入れました。

山口大学医学部附属病院の神経内科との連携により、当施設が『認知症』診断に役立つ施設として利用されて行くよう努めたいと考えます。

当施設の『セムイ』の冠名は、施無畏に由来し畏れを取り除き安心を与えるとの意味があります。当施設のスタッフ一同、この名に恥じないよう、受診者や患者の皆様へ、画像診断や治療を通じて畏れを取り除き安心していただけるような接遇と診療を心がけて行く所存です。どうぞ皆様の暖かいご支援をお願い致します。

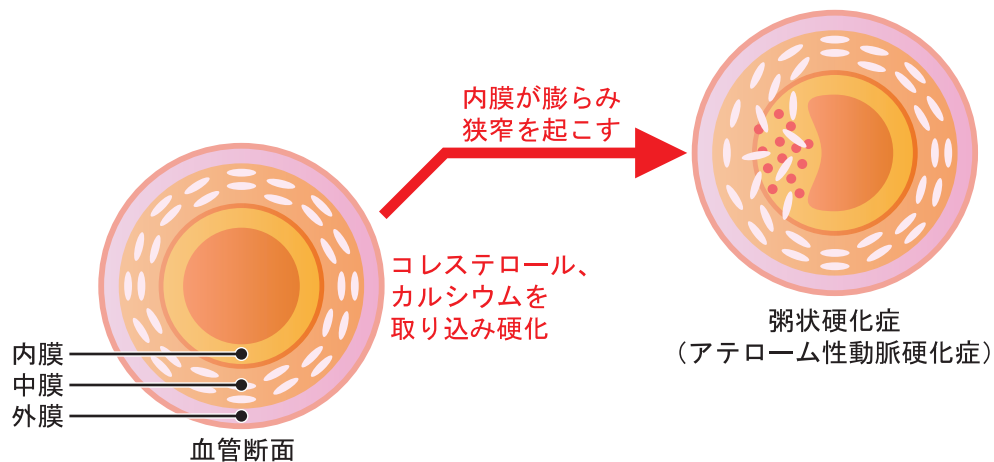


検査のお話

動脈硬化とは

動脈の内側に、血液に由来する物質や特にLDLコレステロールの増加により起こるものです。

動脈硬化はだんだん血管が硬くなり、各臓器への血液の流れを悪くする他、最終的には血管が狭くなったり、詰まったりする病態です。発症して年数が経過するほどの進行するので、進行の予防、治療をすることが重要となります。



早期診断のための血管機能検査

腕の最高血圧に対する、足の最高血圧の比で表されるもので、この指標により足の動脈の狭さや詰まり具合の状態が分かります。

$$ABI = \frac{\text{足の最高血圧}}{\text{腕の最高血圧}}$$

正常値 $0.9 < ABI < 1.3$

数値が低いほど、動脈が閉塞しています。

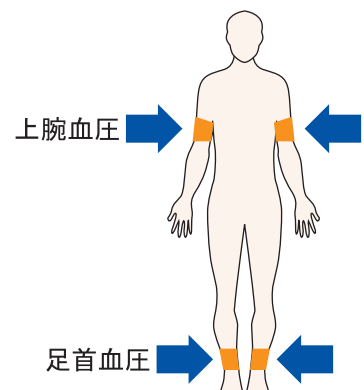
当院で検査が出来るABIフォームは、以下のことが分かります。

ABI検査・・・足の血管が詰まって硬くなっていること

PWV検査・・・血管壁が硬くなっていること

両腕と両足の血圧を同時に測定する検査です。

ぜひ、検査を受けてみませんか？



栄養課のオススメレシピ

～夏を乗り切るゴーヤーチャンプルー～

暑い日が続いていますが、皆さん夏バテなどしていませんか？

そんな時は栄養たっぷりのゴーヤーチャンプルーはいかがでしょう。

ゴーヤーにはビタミンCが豊富に含まれており、食欲不振や夏バテに効果があります。

ビタミンCは熱を加えると壊れてしまう性質を持っていますが、ゴーヤーのビタミンCは加熱しても壊れにくいです。また、豚肉には疲労回復効果があるビタミンB1がたっぷり含まれています。

ジメジメした暑い夏、これを食べて元気に乗り切りましょう！！

材料（4人分）

ゴーヤー	1本（400g）
木綿豆腐	1/2丁
卵	2個
豚肉（うす切り）	200g
もやし	100g
にんじん	40g
しょう油	大さじ1杯
塩	1つまみ
ごま油	大さじ1杯



1人分 : 283kcal 塩分1.6g

作り方

①

豆腐は水切りしておく。

ゴーヤーは縦半分に切って、スプーンで種とワタをかきだし、うす切りにして塩水にしばらくつけておき、さっとゆでて冷水にとっておく。

②

豚肉、にんじんは食べやすい大きさに切る。

③

フライパンを熱し、豚肉を軽く炒め、にんじんを加える。にんじんに火が通ってきたらもやしを加える。

④

水気を切ったゴーヤーを加え、豆腐をちぎりながら加え、しょう油で味をつける。

⑤

卵をといてまわし入れ、塩で味をととのえたら出来上がり！

※ ゴーヤーの苦みがお好きなら、ゆでずに使ってもOK！
豆腐はしっかり水切りしておきましょう！

薬局便り

お薬の飲み方Q & A

Q．錠剤やカプセル剤が飲みにくいので、つぶしたり中身を出して飲んでもいいですか？

A．最近の薬剤には、効果的に薬効を発揮させるためや、副作用を軽くしたり、効果が持続するようにしたりと、様々な工夫がなされているものがあります。

例えば、胃内では溶けず、腸へ行ってはじめて溶けるようにしてある腸溶錠の場合、つぶして飲むと、胃腸障害を起こしたり、胃酸によって効果を失うこととなります。

また、薬の成分が徐々に溶け出す工夫をして降下を持続させている除放錠では、有効成分が一度に出てきて危険なことがあります。

錠剤やカプセル剤が服用しづらいときは、同成分の薬で粉薬やシロップ剤に変更できる場合もありますので、自己判断せず遠慮なく医師や薬剤師にご相談ください。

医療福祉相談室より

病気になると、健康なときにはなかったような様々な問題や心配事が起こってきます。

そこで、その様々な心配事や不安を、ご本人やご家族と共に解決に向け努めるのが医療ソーシャルワーカーです。現在、医療福祉相談室では2名の医療ソーシャルワーカーがおり、患者さまのご相談に応じております。

例えばこんなときに

- ・退院後の生活に不安がある
- ・福祉制度の利用について知りたい
- ・介護施設を探したいけど、どんな施設があるの？

など、どんな些細なご相談でもお受けします。

更に当医療福祉相談室では、地域連携室としての役割も担っており、地域の診療所や病院、行政や福祉サービス機関等とも連携を図り、患者さまが安心して生活を行える体制作りに取り組んでおります。

少しでも皆さまのお力になれるよう努力して参りますので、今後ともよろしくお願い致します。